



新潟大学
旭町学術資料展示館
Niigata University Asahimachi Museum

2023 5/3 wed
→ 6/4 sun

グッズが語る
アートのカ
Art's appeal to the
community as shown
by official goods
芸術祭は地域を変えたか？



ART
FESTIVAL



上段左 / Manabu Hangai「風の龍：最終形態 中之条ピエンナーレの夜」Photo by Kazuyuki Miyamoto 上段中 / 「うぶすなの家」料理人(大地の芸術祭)Photo by Hiroshi Hatori
上段右 / 李禹煥「無限門」(瀬戸内国際芸術祭) Photo by Satoshi Boda 下段中 / イリヤ&エミリア・カバコフ「棚田」(大地の芸術祭)Photo by Nakamura Osamu
下段右 / 「上郷クローブ座」料理人(大地の芸術祭)Photo by Yanagi Ayumi

主催：新潟大学旭町学術資料展示館 共催：比較芸術祭研究会 協賛：地域内発力研究会(科研費：21H00638) 協力：NPO法人越後妻有里山協働機構

公式グッズはTシャツ、
トートバッグだけじゃない
米、どぶろくもアートだ！

21世紀に入って日本では、新潟や瀬戸内、横浜、愛知などで次々と地域と密着した芸術祭が開かれるようになり、また韓国、台湾、中国、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア：東アジアの国々でも現代アートを中心とする大規模芸術祭が続々と開かれています。これらの特徴は、開催地の地元へのアートによる働きかけを目的のひとつに掲げること。この特徴は、多くの芸術祭が公式グッズを製作・販売していることにもよく表れています。

本展覧会では、新潟県十日町・津南地域を会場とする「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」をはじめ、国内外の芸術祭で集めた公式グッズから、地域の再生・振興を目的とする芸術祭がどのように地域に働きかけているかを考えます。どこの芸術祭でも見かけるTシャツやトートバッグなどからも、芸術祭ごとに地域との関係に違いがあるのを見えてきます。終わっても面白い、芸術祭のもう一つの楽しみ方をご提案します。

グッズが語る アートの力

芸術祭は地域を変えたか？

Art's appeal to the community
as shown by official goods

2023 5/3 wed
→ 6/4 sun



上段左から ■ミニタオル、うちわ(国際芸術祭「あいち2022」) ■大地の米(大地の芸術祭) ■2019オリジナルTシャツ(中之条ビエンナーレ2019)
下段左から ■▽ロゴストローハット(大地の芸術祭) ■大地の酒(大地の芸術祭) ■マグカップ(Bangkok Art Biennale 2018) ■トートバッグ
(2019烏鎮当代芸術招待展)

新潟大学 旭町学術資料展示館

Niigata University Asahimachi Museum

〒951-8122 新潟市中央区旭町通2番町746 TEL.025-227-2260
746 Asahimachi-dori 2-bancho Chuo-ku Niigata City

開館時間：水～日曜日 10:00～12:00, 13:00～16:30

休館日：月・火曜日, 12/29-1/3 入館料：無料 駐車場：5台

Opening hours: Every Wed to Sun 10:00～12:00, 13:00～16:30 / Admission free



www.lib.niigata-u.ac.jp/tenjikan/



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。